

1997 January

11

# 福岡市総合図書館 映像ライブラリー NEWS

## 特集

\* 日本の時代劇特集

1月8日(水)～1月12日(日)

\* 台湾映画特集

1月15日(水祝)～1月19日(日)

\* 日本のドキュメンタリー映画特集

1月22日(水)～1月26日(日)



娃娃(ワワ)と子豚



幕末太陽傳

No. 7



## 特集 日本の時代劇特集

日本独特の映画である時代劇。日本の歴史と美意識に深く根ざした映画の数々の中から、川島雄三監督の遺作でありバイタリティー溢れるコメディ「幕末太陽傳」ユーモアとウィットに富んだ「赤西蠣太」、そして黒澤明監督の傑作「羅生門」等バラエティーに富んだ様々なタイプの時代劇を上映します。

会 期：1月8日(水)～12日(日)

観覧料：500円(大人)  
400円(大学生・高校生)  
300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制。

※チケットはすべて当日券、前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。また福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

1月8日(水) 14:00/19:00

### 幕末太陽傳

1957年/モノクロ 35ミリ 110分/日活

監督：川島雄三

出演：フランキー堺/石原裕次郎

川島雄三監督の代表作であり、遺作となった作品。脚本も川島監督であり、幕末期の品川遊郭を舞台にして、歴史上の実際の事件に落語をおりませ、バイタリティー溢れるコメディ映画の傑作としている。主演のフランキー堺のスピード感溢れる演技が見事である。



1月9日(木) 14:00/19:00

### 赤西蠣太

1936年/モノクロ 16ミリ 78分/千恵蔵プロ

監督：伊丹万作

出演：片岡千恵蔵/杉山昌三九

志賀直哉の短編「赤西蠣太の恋」を伊丹万作が監督・脚本した傑作。江戸の伊達屋敷に赤西蠣太という無愛想な醜男が着任する。実はお家騒動をたくらむ陰謀派の秘密を探りに国元から派遣された密偵だった。片岡千恵蔵が醜男の蠣太をコミカルに演じている。



1月10日(金) 14:00/19:00

### 心中天網島

1969年/モノクロ 35ミリ 103分/表現社=ATG

監督：篠田正浩

出演：岩下志麻/中村吉右衛門

近松門左衛門の浄瑠璃の映画化。巨大な文字の壁で構成されるセットなど、演劇的な空間処理による大胆な映像が話題となった実験的な作品であり、篠田正浩監督の初期の傑作である。岩下志麻がすさまじい気迫で熱演している。キネマ旬報ベストテン第1位。



1月11日(土) 11:00/15:00

### 切腹

1962年/モノクロ 35ミリ 134分/松竹

監督：小林正樹

出演：仲代達矢/三國連太郎

武家社会の非人間性、権力者の体面を取りつこうとする偽善を、切腹という形で鮮烈に描いた作品であり、小林正樹監督の時代劇である。仲代達矢の重厚な演技が圧巻であり、小林監督の細やかな演出が秀逸である。カンヌ映画祭審査員特別賞受賞。



1月12日(日) 11:00/15:00

### 羅生門

1950年/モノクロ 35ミリ 87分/大映

監督：黒澤明

出演：三船敏郎/京マチ子

世界に黒澤明の名を知らしめた傑作。芥川龍之介の短編「藪の中」を原作とし、新たな人物を創作することでよりドラマチックな物語となっている。宮川一夫のカメラワークも見事である。ベネチア映画祭金獅子賞、米アカデミー最優秀外国語映画賞受賞。



## 特集 台湾映画特集

中国・香港と並び東アジアにおいて最も注目される作品を作り続けている台湾。80年代に台頭した台湾ニューウェーブの代表的監督・王童(ワン・トン)を中心に台湾映画の魅力に迫る。

会 期：1月15日(水・祝)～19日(日)

観覧料：500円(大人)  
400円(大学生・高校生)  
300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制。

※チケットはすべて当日券、前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。また福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

1月15日(水・祝) 11:00/15:00

### 娃娃(ワワ)と子豚

1991年/カラー 35ミリ 101分

監督：柯一正(コ・イチチョン)

出演：黄湘芸(ホアン・シアユン)/陳彥儒(チャン・イアンズー)

台北に住むチェさん一家に、両親を飛行機事故でなくした小学生のワワが引き取られることになった。山で育ったワワは子豚のバラを連れて大都会の台北にやってきた。ある日子豚のバラが街の中で行方不明になってしまい、子供達の子豚探しの大冒険が始まる。



1月16日(木) 14:00/19:00

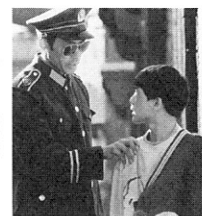
### 上海假期

1991年/カラー 35ミリ 100分

監督：許鞍華(アン・ホイ)

出演：黄坤玄(ホアン・クンシュエン)/午馬(ウー・マー)

学校を退職し、上海の共同住宅で一人暮らしのクーさんのもとに、アメリカに住む息子夫婦の一人息子のミンがやってくる。ところがミンは中国語がまったく喋れない現代っ子。アメリカとまったく違う不自由な上海の生活がいやになったミンはどうとう家出をしてしまう。



1月17日(金) 14:00/19:00

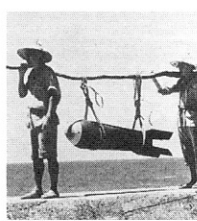
### 村と爆弾

1987年/カラー 35ミリ 96分

監督：王童(ワン・トン)

出演：張柏舟/卓勝利

1944年の台湾南部の村での物語。ある日巨大な不発弾が畑から見つかる。街に持っていかば軍からお金がもらえると言われ、2人の村人と村の巡査が爆弾を担いでゆく珍道中を描いた作品。戦時下の台湾人を自衛的に風刺した王童監督の傑作。



1月18日(土) 11:00/15:00

### 無言の丘

1992年/カラー 35ミリ 165分

監督：王童(ワン・トン)

出演：澎恰恰(ポン・チアチア)/黄品源(ホアン・ピンユエン)

1920年代の台湾。ア・チューとア・ウェイの兄弟は金を稼ごうために、日本人の経営する金山に行きつて雇われる。しかしそこで2人が見たのは過酷な労働と悲惨な現実だった。日本統治時代の台湾の下層社会の民衆の生活を赤裸々に描いた力作。



1月19日(日) 11:00/15:00

### バナナ・パラダイス

1989年/カラー 35ミリ 145分

監督：王童(ワン・トン)

出演：鈕承澤(ニウ・ツェンズウ)/張世(チャン・シー)

バナナ・パラダイスとは台湾のことです。1949年に大陸から台湾へやってきた国民党の兵卒だった2人の男が主人公である。台湾は天国のような所だと言われてやってきた2人だったが、現実とはまったく違っていた。台湾社会のあり方について見事な寓意が込められた、王童監督の最高傑作。



# 特集 日本のドキュメンタリー映画特集

本館収蔵映画作品の中から、戦後ドキュメンタリー映画の代表的作品を紹介していきます。ドキュメンタリー映画の新しい時代を、当時としては斬新な手法によって切り開いた羽仁進の「教室の子供たち」から、現在もっとも注目を集める原一男の代表作「ゆきゆきて神軍」までを通して、1950年以降、ドキュメンタリーによる視線の変化と対象の変化を中心に考える10プログラム。

会 期：1月22日(水)～26日(日)

観覧料：500円(大人)

400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制。

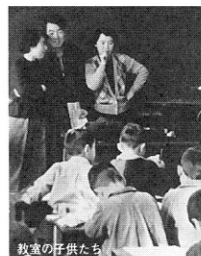
※チケットはすべて当日券、前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。また福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

1月22日(水) 14:00

## プログラム1 観察者としての視点／羽仁進

羽仁進は弱冠26才にして教育記録映画の傑作、「教室の子供たち」を撮る。この作品はそれまでの記録映画のシナリオ中心の手法から、観察中心の手法を用いて注目される。教育映画祭最高賞、ブルーリボン賞、キネマ旬報賞受賞。日活系で一般公開された。同時上映に「絵を描く子供たち」と「法隆寺」を上映。



教室の子供たち

▶「教室の子供たち」  
監督 羽仁進  
1955年／岩波映画  
16ミリ モノクロ30分

▶「絵を描く子供たち」  
監督 羽仁進  
1956年／岩波映画  
16ミリ カラー40分

▶「法隆寺」  
監督 羽仁進  
1958年／岩波映画  
35ミリ カラー24分

1月22日(水) 19:00

## プログラム2 秘境探検／カラコルム

京大・木原博士を隊長とするカラコルム・ヒンズークシ学術調査隊に同行し、各地の風俗、文化から学術調査隊の活動を紹介する記録映画。50年代から60年代前半にかけ、「秘境もの」と呼ばれる、調査隊や登山隊に随行して撮られた記録映画が、劇場で一般公開され人気を博している。



▶「カラコルム」

1956年／35ミリ カラー120分／日映新社＝東宝  
編集：伊勢長之助／撮影：林田重男・中村誠二／音楽：黛敏郎

1月23日(木) 14:00

## プログラム3 イメージとノンフィクション／黒木和雄

後に創映画の分野に進出した黒木和雄の記録映画時代の代表作二作品。ともに産業映画・PR映画という枠で撮られているが、「わが愛北海道」では記録とフィクションとの融合、「あるマラソンランナーの記録」はオリンピックのマラソン代表候補・君原選手の練習を通して、スポーツ選手の内面を追求している。



わが愛北海道

▶「わが愛北海道」監督 黒木和雄  
1961年／35ミリ カラー48分／岩波映画

▶「あるマラソンランナーの記録」監督 黒木和雄  
1964年／35ミリ カラー63分／東京シネマ

1月23日(木) 19:00

## プログラム4 フィクションとノンフィクション・越境、もしくは曖昧な境界／今村昌平

「神々の深き欲望」などで知られる巨匠・今村昌平の問題作。ある失踪者を婚約者とともに捜索する過程で浮かび上がる様々な事実。事実と虚構を敢えて錯綜させながら映画の中心は、失踪者の行方ではなく彼を取り巻く人々の人間追求に傾いていく。毎日映画コンクール監督賞受賞。



▶「人間蒸発」監督 今村昌平／出演 露口茂  
1967年／35ミリ モノクロ130分  
今村プロ＝ATG＝日映新社

1月24日(金) 14:00

## プログラム5 主張するドキュメンタリスト／土本典昭

日本を代表するドキュメンタリストの一人に、土本典昭がいる。彼のフィルムグラフィの大半が水俣病に関するものであり、様々な視点から水俣病を取り扱ってきた。本格的に彼がこの水俣病に取り組んだ第一作が本作であり、水俣病患者を取り巻く状況の一つの世界として描いていく。第一回世界環境映画祭グランプリ。



▶「水俣 患者さんとその世界」監督 土本典昭  
1970年／16ミリ モノクロ167分／東プロダクション

1月24日(金) 19:00

## プログラム6 ドキュメンタリスト以外の／新藤兼人

脚本家にして映画監督の新藤兼人が、自ら師と仰ぐ映画監督・溝口健二。1956年死去した映画監督・溝口健二の人間像を彼の映画に関わった39人にインタビューし、溝口健二の人間像に迫る。それは同時に新藤兼人自身の溝口健二像の検証であり、作り手側としての作家論の検証でもある。



▶「ある映画監督の生涯・溝口健二の記録」監督 新藤兼人  
1975年／35ミリ カラー150分／近代映画協会

1月25日(土) 11:00

## プログラム7 被写体と観察者の同化・小川紳介

「共闘」の姿勢から出発した小川紳介による三里塚抗争の記録映画は「共生」へと変化した。三里塚で共同生活を通じて、闘いの前線を撮るのではなく、農民の日常と部落の歴史へと深化していく。映画「三里塚辺田部落」は三里塚シリーズの到達点であり、その後東北へ居を移した「ニッポン国古屋敷村」以降にその姿勢は受け継がれていく。

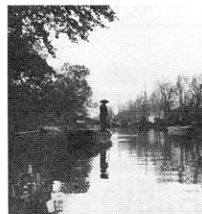


▶「三里塚辺田部落」監督 小川紳介  
1973年／16ミリ モノクロ146分／小川プロダクション

1月25日(土) 15:00

## プログラム8 ドキュメンタリスト以外の／高畑勲

アニメーターとして名高い宮崎駿製作、高畑勲監督・脚本で作られた初のドキュメンタリー。福岡県柳川市の堀割の浄化運動をレポートしている。高畑勲や宮崎駿のアニメの中で何度もテーマとして語られる「自然と人間」を、ドキュメンタリーの形で紹介していく。



▶「柳川堀割物語」監督 高畑勲  
1987年／16ミリ カラー165分／二馬力

1月26日(日) 11:00

## プログラム9 新しい視点／原一男

自ら「神軍平等兵」を名乗り過激な行動を繰り返す奥崎謙三取材したこの映画は、カメラの存在が奥崎自身の行動を刺激し助長していく。撮られる側の自意識と撮る側の自意識が相乗し、映画は思わぬ方向へ進んでいく。同時にある種共犯者であるカメラは、同時に傍観者として機能し、観客の生理を刺激していく。



▶「ゆきゆきて神軍」監督 原一男  
1987年／35ミリ カラー122分／疾走プロダクション

1月26日(日) 15:00

## プログラム10 共生の新しい形／阿賀に生きる

尾瀬を源流として日本海に注ぐ阿賀野川。新潟水俣病の舞台となったこの川沿いの町に7人の若者が住み込み、川に生きる人々と水俣病を撮り始めた。やがてそれは村の人々との交流の記録となり、村に居を構え、撮り続けた3年間の成果として開かれていく心の記録となっていく。



▶「阿賀に生きる」監督 佐藤真  
1992年／16ミリ カラー155分／阿賀に生きる製作委員会



## 映像ホールスケジュール

| 月 | 日  | 曜 | 内               | 容                                             |
|---|----|---|-----------------|-----------------------------------------------|
| 1 | 1  | 水 | 休館日             |                                               |
|   | 2  | 木 |                 |                                               |
|   | 3  | 金 |                 |                                               |
|   | 4  | 土 |                 |                                               |
|   | 5  | 日 | 上映はありません        |                                               |
|   | 6  | 月 | 休館日             |                                               |
|   | 7  | 火 | 上映はありません        |                                               |
|   | 8  | 水 | 日本の時代劇特集        | 14:00 幕末太陽傳 19:00 幕末太陽傳                       |
|   | 9  | 木 |                 | 14:00 赤西蠣太 19:00 赤西蠣太                         |
|   | 10 | 金 |                 | 14:00 心中天網島 19:00 心中天網島                       |
|   | 11 | 土 |                 | 11:00 切腹 15:00 切腹                             |
|   | 12 | 日 |                 | 11:00 羅生門 15:00 羅生門                           |
|   | 13 | 月 | 休館日             |                                               |
|   | 14 | 火 | 上映はありません        |                                               |
|   | 15 | 水 | 台湾映画特集          | 11:00 娃娃(ワワ)と子豚 15:00 娃娃(ワワ)と子豚               |
|   | 16 | 木 |                 | 14:00 上海假期 19:00 上海假期                         |
|   | 17 | 金 |                 | 14:00 村と爆弾 19:00 村と爆弾                         |
|   | 18 | 土 |                 | 11:00 無言の丘 15:00 無言の丘                         |
|   | 19 | 日 |                 | 11:00 バナナ・パラダイス 15:00 バナナ・パラダイス               |
|   | 20 | 月 | 休館日             |                                               |
|   | 21 | 火 | 上映はありません        |                                               |
|   | 22 | 水 | 日本のドキュメンタリー映画特集 | 14:00 教室の子供たち<br>絵を描く子供たち<br>法隆寺 19:00 カラコルム  |
|   | 23 | 木 |                 | 14:00 わが愛北海道<br>あるマラソンランナーの記録 19:00 人間蒸発      |
|   | 24 | 金 |                 | 14:00 水俣・患者さんとその世界 19:00 ある映画監督の生涯<br>溝口健二の記録 |
|   | 25 | 土 |                 | 11:00 三里塚辺田部落 15:00 柳川堀割物語                    |
|   | 26 | 日 |                 | 11:00 ゆきゆきて神軍 15:00 阿賀に生きる                    |
|   | 27 | 月 | 休館日             |                                               |
|   | 28 | 火 | 上映はありません        |                                               |
|   | 29 | 水 | 上映はありません        |                                               |
|   | 30 | 木 | 上映はありません        |                                               |
|   | 31 | 金 | 月末休館日           |                                               |

※満席の場合、入場をご遠慮いただく場合がございますのでご了承下さい。

## 佐藤忠男アジア映画連続講座

アジア映画の第一人者・佐藤忠男が、アジア映画とアジア各国の民族・歴史・文化との係わりを縦横に語る3回連続講座

第2回 平成9年2月9日(日) 13:30~15:00

「インド・東南アジアの映画について」  
参考上映「傷あと」1977年 タイ  
監督：チュート・ソンスイー

第3回 平成9年3月9日(日) 13:30~15:00

「韓国映画について」  
参考上映「開闢」1991年 韓国  
監督：林権澤

観覧料：無料

参加方法：ハガキ、電話、FAXで氏名、電話番号、参加希望日を添えて福岡市総合図書館映像資料課へ、講座の前日までに申し込んで下さい。

## 映像ホール利用申し込みについて

平成9年3月以降映像ホールで図書館の企画上映がない下記の期間は、映像ホールを有料で利用することができます。(但し映像文化の普及振興を目的とした非営利の映写会の利用に限る)

期 間

平成9年

3月26日(水)~3月30日(日)

4月25日(金)~4月27日(日)

5月28日(水)~6月1日(日) ただし5月31日(土)は月末休館日

利用に関しては条件等がございますので、詳しくは福岡市総合図書館映像資料課 TEL(092)852-0600までお問い合わせください。

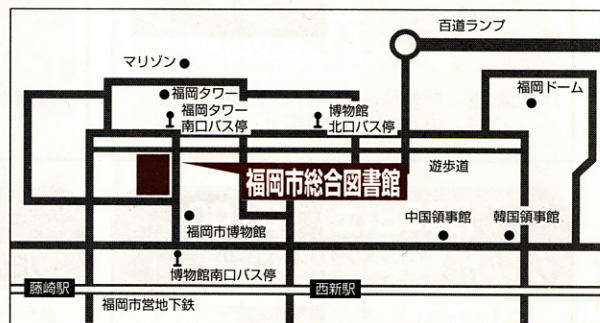
## 映像ライブラリーNEWS送付のご案内

ただ今ご覧の「映像ライブラリーNEWS」及び映像ホール等で行われる各種イベントの情報を毎月(来年度3月号まで)無料で郵送いたします。(ただし要切手代)ご希望の方は希望の郵送開始月及び住所・氏名を明記の上、郵送手数料(90円×'97年3月までの月数：例 2月号からなら90円×2ヶ月=180円)分の切手を同封して、下記の宛先まで送付してください。希望月より'97年3月まで毎月郵送いたします。

宛先：〒814 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
福岡市総合図書館映像資料課まで

なお、毎月当ホールの上映スケジュールポスターを掲示していただける店舗等も募集いたしております。

詳しくはTEL (092)852-0600 福岡市総合図書館映像資料課まで



交通機関

地下鉄西新駅および藤崎駅より徒歩15分  
西鉄バス博物館南口および福岡タワー南口バス停留所より1分  
都市高速百道ランプより車で2分

Fukuoka City Public Library Movie Hall

福岡市総合図書館映像ホール

福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

●お問い合わせは

☎ (092) 852-0600

FAX (092) 852-0609